



校訓	理想は高く 心清らかに	教育目標	未来を拓く、心豊かな心身ともにたくましい 生徒の育成 ～感性を磨き自立を育む教育～
----	----------------	------	--

## 読書離れ



知り合いの先生は、自他共に認める「本の虫」。ニコチン中毒ならぬ活字中毒のようです。いつときでも活字を見ないとイライラしてくると言いますからビックリ、ビックリ。

イライラ防止のため、書斎、居間、寝室、ダイニング、トイレ、車の中、極めつけは風呂場にまで本を置いているんだそうです。風呂場では、折り畳み式の蓋を半分開いて中に入り、開いてない蓋の上に乾いたタオルを敷きます。そして、その上に本を置いて読書するそうですが、これが最高に楽しくて、幸せいっぱいの気分になるとか。いくらなんでも、ちょっと真似できませんねー。

読書離れが叫ばれて久しいですけど、中には、一年間に一冊も本を読まない子どもも珍しくないとか。残念ですね、心の栄養補給は読書が一番いいんですけどね。学力向上の基盤でもあるのに。原因や理由はいろいろでしょうが、一つには、周りに本があふれていることもあるかもしれません。ありすぎて・・・。

「聞けわたつみの声」という本を読んだことがあります。これは、先の大戦で学徒出陣した人たちの手記が掲載されているんですけど、それを読んで大きなショックを受けたことを今でも覚えています。それは、軍に招集されて、読書するにも本がないので、活字に飢えた学徒兵が、毎晩トイレの中で「メンソレタム」(塗り薬)の効能書きを、繰り返し、繰り返し読んでいたということです。

なんか、考えさせられますね・・・。今の時代は、本があふれていて不感症になっているのではないのでしょうか。子どもたちの目の前から、すべての本を取り去ってしまったら本を求めるのでしょうか・・・。テレビ、インターネット、ゲーム等面白いものがいっぱいありますからね。無理か・・・？